

6. 表彰

1. 第 11 回パーキンソン病・運動疾患コンgres

受賞者：岡田洋平，萬 礼応，福本貴彦，青山朋樹，高橋正樹

演題名：パーキンソン病患者における方向転換動作の特性の解明

－Laser 計測システムを用いて－

内 容：パーキンソン病患者の方向転換動作を Laser 計測システムを用いて評価した結果，パーキンソン病患者は健常者と比較して小さい回転半径で方向転換する傾向にあり，その傾向が強い者ほど歩行転換時の歩幅の減少率が高いことを明らかにした。

2. 第 22 回 日本ペインリハビリテーション学会学術大会

受賞者：西 祐樹，大住倫弘，信迫悟志，森岡 周

演題名：痛み関連回避戦略の心理学的特性

－恐怖条件付けに基づく行動選択パラダイムを用いて－

内 容：過剰な回避では痛み-恐怖の概念化が生じた一方で，代償的回避では概念化が生じなかった。このことから，代償的回避によって活動量を維持することは，痛みの誤認識を防ぐ対処戦略であることが示唆された。

3. 第 19 回大阪病院学会

受賞者：高村優作，今西麻帆，大坂まどか，大松聡子，森岡周，河島則天

演題名：半側空間無視の回復過程における机上検査と生活場面の乖離について

内 容：半側空間無視症例の中には机上検査上で無視症状を認めていないにも関わらず日常生活動作において無視症状が認められる症例が存在しており，このような症例では能動的注意による代償が可能であるが前頭葉の過活動を伴う場合があり易疲労性などの原因となる可能性があることを示した。